

卒業生が語る中高一貫教育 第4回

私が過ごしたミッションでの6年間

今を遡ること6年前の2003年、高校受験によって寸断されることのない、生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムの実現を目指し、「中高一貫教育」を導入した北陸学院。このインタビューシリーズでは、夢への確かな一歩を踏み出した第一期目の卒業生たちに、「勉強プラスもうひとつ」を教育方針とする北陸学院で過ごした6年を振り返ってもらいます。



「今でも毎日来たい！
ミッションが大好き」

中村月香さん | 上智大学
なかむら まどか | 法学部地球環境法学科

月刊北國アクタス2009年12月号掲載記事

北陸学院中学校・高等学校の教室にて

英語弁論大会で
全国2位に

ミッションを選んだ理由と
もうひとつを教えてください。
体験入学で、そのアット
ホームな雰囲気感激し、
自分の中では早い時期から
「中学はここ」と決めていま
した。合格してからは、両親
に「早くあのかわいい制服を
着たい(笑)、待ちきれない」
と言っていたほど、入学を楽
しみにしていました。

入学から卒業までの6年
間については、行事二色ともい
える学校生活でした。もと
もと積極的な性格だったこ
ともあり、演劇コンクールや
文化祭などのたくさんさんの行
事は、自分の力を試せる格
好の場でした。生徒会長ま
でやらせていただいて、勉強
も自分なりに一生懸命でし
たから、時間のやりくりは
大変でしたが、とにかくいつ
も全力で取り組んでいま
した。今思い返せば、当時あ
れほど色々なことにチャレン

ジできたのも、生徒一人ひと
りの自主性を何よりも大事
にするミッションの校風と、ど
んな些細な悩みにも真剣に
耳を傾け、励ましてくれた
先生方の存在がよりどころ
になつていたように思います。
行事以外では、中学3年
で出場した高円宮杯全日本
中学校英語弁論大会*も大
切な思い出です。夜中に英
語の寝言が目覚めるほど
打ち込んだかきもあつて(笑)、
県大会から東京での全国大
会に進み、全国2位にまで
なることができました。何千
人も聴衆の前でスピーチ
したときは、心臓の音が聞こ
えるほど緊張しましたが、
普段の学校生活から人前で
話すことには慣れていたので、
プレッシャーにも負けること
なく本来の力を発揮できた
のだと思います。

し、自分でも不思議ですが、
卒業した今でも毎日来たい
と思うくらいミッションが好
きなんです(笑)。
*高円宮杯全日本中学校英語弁論大会
：読売新聞社と日本学生協会基金が主
催。校内予選大会の参加者が全国で10万
人を超える日本最大の英語弁論大会。



全国2位の栄冠に輝いた高円宮杯全日本中学校英語弁論大会

留学で環境問題の
大切さに目覚めた
進路の決定については？

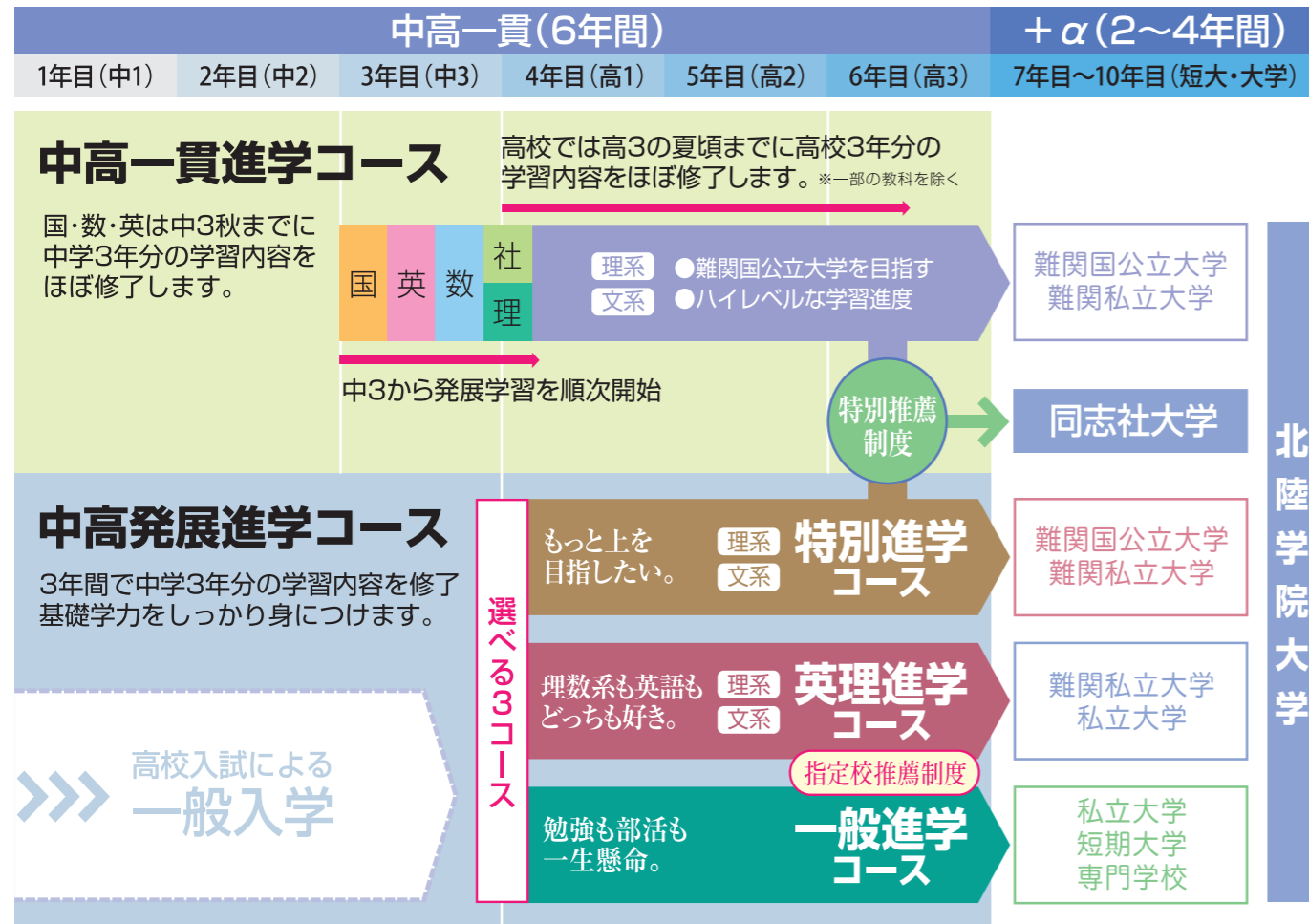
高校3年生の夏から1年
間オーストラリアに留学し
ました。大学受験のことを
考えて2年生で行くのが一
般的なのですが、どうしても
生徒会活動を途中で止めた
くなかったこともあり、見
送っていました。「留学は大
学生になつてから」と思ってい
ましたが、何気なく行つた説
明会で、校長先生や留学担
当の先生の話を聞くうち、
「今しかない！」と考えが二変
(笑)。受験勉強が本格化す
る時期に、突然「留学した
い」と宣言したので両親も先
生もかなり驚きましたが、
最終的には私の意志を尊重
してくれました。

オーストラリアでは、水不
足など、日本にいたときには
知らなかった環境問題の深
刻さを肌で感じる機会が多
くさんありました。学校で
も環境に関する授業が多く、
「もっと環境について学びた
い」と思うようになったこと
で、法律の視点から環境につ
いて学べる現在の大学をイン
ターネットで探し出し、帰国
後はすぐに入学に向けた準
備を始めました。
入試方法は、学力に加え、
「これまで何をしてきたか、
これからどんなことをやり
たいか」が問われる推薦入
試を選択し、必要な書類を
揃えると同時に、小論文の
テストや面接の対策に追わ
れました。受験まではあま
り時間がありませんでした
が、推薦入試におけるミッ
ションの豊富な実績に裏打
ちされた先生方のアドバイ
スや、行事で培った自己ア
ピール力のおかげで合格で
きたと思っています。

—ミッションの10年Story—

個性に合わせて広がる未来

大学を含めた10年間をひとつの教育期間と考え、広い視野をもった人間味あふれる社会人を世に輩出しています。



北陸学院の「中高一貫教育」

「ミッションの中高一貫教育」という選択

無限の可能性を秘めたお子さんの未来のために…

今春、北陸学院初の「中高一貫カリキュラム修了生」たちが、大学受験においても立派な成績を収めました。

なぜ今「中高一貫校」なのか

子どもが小学校高学年になると、保護者の間で「中高一貫」「受験」という言葉が聞かれるようになり、中高一貫教育の最大のメリットは、基礎学力の低下という「ゆとり教育の課題」を解消し、6年間で効率的に学習を進められることにあり、「子どもにやさしい教育」として中高一貫校を選ぶ親子が全国的に増加しています。

北陸学院中学校・高等学校の特色ある「2つのコース」

北陸学院は、2003年度より県内初の「中高一貫教育」を実践してきました。北陸学院中学には、6年間のカリキュラムで全国の難関国公立大学を目指す「中高一貫進学コース」と中学で基礎学力を身につけ、高校入学時に自分に合ったコースを選択できる「中高発展進学コース」があり、どちらのコースも、早い時期に基礎的な学習能力の土台を固めます。そのため、子どもたちは、部活に、学校行事に、また好きな習



少人数制による丁寧な指導で生徒の能力を引き出す



人格形成に大きな役割を果たす毎朝の礼拝

い事に取り組み、彼らの人生にとって大きな財産となる友人との時間を楽しみながら、無理なく大学入試への準備を整えることができます。また、北陸学院では、キリスト教教育を軸とした心の教育をすべての土台としており、思春期を迎えた多感な子どもたちの、人間的な成長をしっかりとサポートします。

推薦と一般、どちらの入試制度にも強くなる

大学入試において、推薦に強いことも北陸学院の大きな特徴です。同志社大学とは、教育連携協定を結び、2011年度より15名程度の特別推薦枠が設けられる予定です。また、キリスト教学校教育同盟校として、関西学院大学や青山学院大学にも多くの指定校推薦枠を有しています。これらの大学をはじめ、全国95校への指定校推薦、公募制推薦、AO入試^{※2}などの制度を利用し、夢を叶えた先輩たちが充実したキャンパスライフを謳歌しています。

さらに、中高一貫カリキュラムの成果が初めて試されることとなった今春の入試においては、合格実績の約40%を一般入試が占める結果となりました。(実績の詳細については左ページをご覧ください)

※1 2009年4月現在
※2 アドミッション・オフィス入試。出願者の人物像を学校側の求める学生像と照らし合わせて合格を決める入試方法。

中高一貫「第1期卒業生31名」の合格実績 (2008年度:すべて現役合格)

- 中高一貫・特別進学コース
 - [国公立大学] 金沢大(人間社会、理工) 2名 富山大(工、経済) 3名 はこだて未来大(システム情報科学)
 - [私立大学] 青山学院大(文) 関西外国語大(外国語) 関西学院大(法) 京都産業大(経営、経済) 6名 京都女子大(現代社会、文) 3名 京都精華大(マンガ、芸術) 3名 近畿大(経営、経済) 2名 芝浦工業大(工) 2名 中京大(現代社会、総合政策) 2名 東京薬科大(生命科学) 日本女子大(理) 法政大(国際文化、文、理工) 5名 武庫川女子大(文) 3名 明治学院大(国際、文) 2名 桃山学院大(経営、社会) 2名 立命館大(映像、経済) 2名
 - 英語コース (2007年度より英理進学コース)
 - [私立大学] 学習院大(法) 国際基督教大(教養) 上智大(法) 北陸学院大(人間総合)
 - 一般進学コース
 - [私立大学] 青山学院大(経営) 京都精華大(芸術、人文) 3名 京都ノートルダム女子大(人間文化) 女子美術大(芸術) 玉川大(リベラルアーツ) 同志社女子大(学芸)
- ※「のべ人数」による実績。高校からの入学者の実績は含んでいません。

2010年度 学校・入試説明会のお知らせ

北陸学院高等学校

11月21日(土) 学校・入試説明会①

11月28日(土) 学校・入試説明会②

12月 5日(土) 学校・入試説明会③

12月12日(土) 個別相談会

◎詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。